

空

Aブロック全作品と講評

www.columnland.net



夜の空

薄い黒が見えるだけ

もう少し右には桜が

もう少し左には月が

見えるだろうね

でも、

もうしばらく

この夜に耳を傾ける

そらはどうしてあおいのかな？

おかあさんにきくとね、

「みんなが優しい気持ちになれる色だからよ」
っていうんだ

おとうさんは

「さわやかな色で朝にみんなに元気をあげるためかな」
だって

おばあちゃんは

「それは神様が世界をつくるときに決めたんだよ」
っていった

おねえちゃんは

「雲さんがね、自分が見えるように青色に空を塗ったんだよ」
とかいうし

おにいちゃんは

「知らないのか、海の青が空にうつってるんだよ」
だってさ

みんなね

ひかりのさんらのせいだってこと、しらないんだぜ

空の落下現象を発見してノーベル物理学賞

スウェーデン王立科学アカデミーは7日、二〇〇一年のノーベル物理学賞を会社員の巢田洋氏（41）、ジャック・アンダーソン、米ラジウム工科大学教授（58）、ハインリヒ・シューマツハミイッテルビウム大学名誉教授（67）、ドイツ国籍）の三氏に授与すると発表した。日本人のノーベル物理学賞受賞は二〇〇八年以来八人目。授賞式は十二月十日。

今回、巢田氏の受賞が注目されているのは、これ以前の受賞者に比べると特異な点が多いことである。

これまでのノーベル物理学賞では、新しい技術や新しい物質などの「未知の物」を発見して受賞することが多かった。

しかし、今回の発見したものは「空の落下」という我々にとって非常に馴染み深いものである。

空の落下に関する記述は、古くは、紀元前四百年頃の中国の文献「列子」にも「杞國、有人憂天地崩墜、身亡所寄、廢寢食者。又有憂彼之所憂者。」という文章で登場しており、その歴史は二千年以上になる。

しかし、この文章は空が落ちると言った者を心配しすぎだと言った文章であり、杞憂という言葉の元となった文章である。

ほんの数年前までは、空が落ちることなどということとは迷信であるとされていた。

しかし、巢田氏が仕事に行く電車から空を眺めていた際に、空の落下を裏付ける決定的な証拠を発見した。

この研究が発表された時点では、誰ひとりとして興味を持つものはいなかったが、巢田氏の友人である蒲谷葉佳 風流（ふうる）大学教授が目をつけて発表すると、一気に脚光を浴びた。

二〇〇二年の田中耕一氏のノーベル化学賞に続いてのサラリーマン受賞ということもあり、かなりの注目も集めている。

ノーベル賞を受賞したことについて、巢田氏は次のように述べている。

「ノーベル賞というものは、研究を積み重ねてきた人が取るものであって、自分とは何の関係もないものだと思っていました。子供たちに、日常の中にも歴史的な大発見をする機会はあるのだということとを広められたならば幸いです。子供の発想力で発見をすることも目指してみたいと思います。大人はそれを育てて行って欲しいですね。」

大人は子供の考えを無意識にしても意識しても否定することが多くある。

子供の発想を摘みとって消してしまうようなことをしてしまうということが杞憂で済むことを祈るばかりである。

四月なあいう空

総意、ああ、懐かし(回文)

今年の四月は雨ばかりでしたねえ

そら

空が喜んでいる

サンサンと降り注ぐ陽光に
僕の体があつくなる

空が泣いている

シトシト降る雨がやたらと
僕の顔にまとわりつく

空が怒っている

ピカピカ光る雷が
僕の鼓動と重なる

空が消えていく

ドロドロ近寄る闇と共に
僕の存在も消えていく

空がよみがえる

ギラギラと昇る太陽とともに
僕の心も湧き上がり

そら

僕の一日が今日もはじまる

「もう眠れそう？」

「ううん。もったいなくて！おばあちゃん！」

「仕方ないわねえ。じゃあ、これでおしまいよ？」

「うん……」

彼女は本をひらき読み始めました。ページを捲ろうとする頃には、孫の寝息が聞こえました。本をチェストの上に置き、ふとバルコニーの方を見ると、そこには満月が空に浮かんでいました。それはあまりにきれいな月だったので、彼女は自然と月の方へ向かつて歩きはじめました。

「どうして月は空に浮かんでいられるのかしら。月にうさぎは本当にいるのかしら。どうして月は近づこうとしても、逃げていってしまうのかしら。」

彼女は子どもの頃からこのようなことを考えるのが好きでした。気がつくとな彼女は宙に浮かんで、月を追いかけていました。すると、どういうわけか月は逃げませんでした。彼女は嬉しくなると、空の上を駆け回りました。

「なんだかいつもより身体が軽いわ。それにこんなに走っても関節も痛くないわ！まるで夢みたい。」

自分をよくみると、あの頃の自分に戻っていました。目も耳もずいぶんよくなって、遠くの音や物がわかるようになっていました。空から下を見ると、いつか会った帽子屋と三月うさぎがまだお茶会を続けているようです。

特に行く場所も思いつかなかったので、そこへ寄っていくことにしました。

「戻ってこないって言っていたじゃないか。」と三月うさぎが言いました。

「あなたに言われなくなつて、帰るわよ。」

彼女は怒って帰ろうとしましたが、帽子屋がそれを止めました。

「おれたち話のネタがなくなつて退屈なんだ。何か話してくれよ、お嬢さん。」

それはもったいなことでした。なにせあれから八十年もここでお茶会をしているのだから……。

「そうね、何から話そうかしら……」

彼女はとっても穏やかな気持ちでした。そして、彼女は気づきはじめていました。この夢からは、醒めないことを。

お空の国のアリス

空の顔

空にはきつと心がある。なぜかっというところ・・・

地平線の向こうに日が昇る。

それはね、空が朝氣持ちよく起きて、にっこり笑って、きれいな歯をきらめかせるからなんだ。

厚い雲がやってくる。

それはね、空が暗い顔をして涙を流したり、時々怒り出してしまうったりするからなんだ。

暗い雲が晴れてくる。

それはね、空がなぜか驚いて顔を真っ青にするからなんだ。

だんだん日が落ちてくる。

それはね、空がとっても恥ずかしがって顔も真っ赤にするからなんだ。

日が落ちて、暗くなる。

それはね、空が眠くなっちゃって、枕に顔を伏せちゃっているからなんだ。

こんなに空には表情があるんだ。

明日はどんな表情を見せてくれるかな。

白紙

「あえてなにも書かないというのは
意味のあることだと思うのです。
それを見て、

人は何かを考えさせられるはずです。

ある種 何も書かないというのは

完成された表現ではないでしょうか？

何も選んでいないからこそ、

何に向けても偏っていません。

空白には無限の可能性があります。

受け取った人が

そこに好きなように描く余地があります。」

「つまり君は何を言いたいんだい？」

「ごめんなさい 白紙です」

努力の成果

君がたくさん頑張って手に入れた箱は

なにか入っているかもしれないし

なにも入っていないかもしれない

多分 なにも入っていない事の方が多いんだけど

それでも君は箱を開ける

箱を開けるのはあっけないほどに簡単で

それはとても勇気のいる行動で

ああ 箱は空だったんだね

今は泣きたいだけ泣くといい

箱を開けた君は

きっと次の箱も開けることができるから

空車

「お客さん、どちらへ」

「まず環七まっすぐ行って高円寺までおねがいます。」

運転手はメーターのスイッチを入れて、電光表示は満車に切り替わった。夜の環七の街灯が目にしみる。

ずいぶん長い間ぼーっとしていたような。

ふと運転手の横の窓に反射した電光表示を見ると、いつの間にか空車になっていた。

そして外で手を挙げている人を見つけると、すぐにタクシーは路肩に停車した。

自分と背格好の似た男が乗車してきた。

「お客さん、どちらへ」

「まず環七まっすぐ行って高円寺までおねがいます。」

これは相乗りタクシーなのか。

まあいい、割り勘できるならラッキーなものだ。

それから間もなく高円寺に着いた。

「お会計は。」

「無料です。」

「えっ、どういうことですか。」

「メーターが0円ですの。」

そのタクシーはあの男を乗せたまま出て行ってしまった。時計を見ると思ったより時間は経っていなかった。

小心物語

予鈴が鳴る五分前

教室を出ていく彼女を眺め、僕も席を立つ
次の授業は自由席制だった

細くて小さな体躯とは裏腹に、頑固で意地っ張りな彼女
くだらないことでけんかして、からかいあつて、笑いあう彼女
いつからだろうか、そんな彼女を目で追うようになったのは
いつからだろうか、そんな彼女を愛で負うようになったのは

ある日、彼女の隣に別の男が座っていた
嫌だった

なんとなく

彼女の隣は気持ちいいから
いつでも空いていてほしかった
たまに座らせてくれればいい
僕が見つけた特等席

…そう思ったのかもしれない
よくわからない

本鈴が鳴る五分前

まだ彼女の隣は空いているだろうか

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	夜の空	4 pt	7 位	1 sp
		見えないから聴く。そんなコンセプトだったでしょうか。 薄墨の日本画のような風景が、ほんわりと浮かんできました。夜の匂いがしっかりとらえられたすてきな表紙で今週のスタートです。 特別賞：深いで賞（暗い空を見つめるのではなく、耳をかたむけるといふ点に奥深さを感じた）		
A02	そらはどうしてあおいのかな？	29 pt	1 位	1 sp
		やるなあ！ 技能賞。 絵本テイスト、ほんわかな気持ちで読み進めていたら、さいごに「みんなしらないんだぜ」と。子どもの背伸び感がしっかり出ている、とてもほほえましいオチでした。 シンプルなおチが大ヒットして金メダルの栄冠に輝きましたね。イチオシフレーズ大賞も付いてきました。 おめでとう!!! 特別賞：腹黒いで賞（子供扱いしないでくれ！！という抗議の気持ちが表れていて良い!!）イチオシフレーズ：「しらないんだぜ」（知ったかぶってるところがいい）「みんなひかりのさんらんのせいだってしらないんだぜ」×2 「海の青が空にうつってるんだよ」		
A03	空の落下現象を発見してノーベル物理学賞	1 pt	10 位	0 sp
		がんばれ正統派！ きっちりと書き込んだニュース記事。どんな「証拠」を見つけたんだろう？と読み手の心をぐいぐい引き込みます。ラスト「杞憂」でまとめるに至るまで、緻密で誠実なお仕事ぶりに拍手！ イチオシフレーズ：「子供の発想を摘みとって消してしまうようなことをしてしまうとすることが杞憂で済むことを祈るばかりである」		
A04	無題（回文）	0 pt	11 位	4 sp
		努力したんだぜ感、二重丸。 つくるの、たいへんですよね、こういうの。 たしかに今年の春は、やたらにお花見期間が長かったなあなんて、同じ年に大学に入った人たちの共通の思い出ですね。ポイントは入らなかったけれど、特別賞をたくさんいただきました。 特別賞：がんばったで賞（よく考えたなあ）書体賞（書体、短さ）努力賞（がんばりとがんばりとがんばりと．．．最後の1文はいらない）おちみちお賞（まさかさかさま） イチオシフレーズ：「総意、」		
	そら（僕の—	2 pt	9 位	0 sp
		くるりとめぐる四つのシーン。うまく擬人化が効い		

A05	日)	て、擬態語の工夫もていねいで、さらにラストを「そら」でまとめた前向き気分も爽やかです。 ルビ使いのワザ、さらに磨いてくださいませ。
A06	お空の国のアリス	5 pt 6 位 1 sp
		アリス、天へ帰るの巻。とてもきれいな帰り方で、おばあちゃんアリスに浸れます。 三月うさぎとか脇役を固めて、ムダな説明を省いた潔さもストーリーを引き立てています。 特別賞：コラムランド賞（実はお茶会への招待を狙っていたのでは（笑））
A07	空の顔	0 pt 11 位 0 sp
		お父さんが幼な子に語りかけるような、やさしいナレーションが好印象。 「それはね」のリフレインが、いいリズムを刻んでくれます。 せっかく絵本テイストなので、言葉のリズムも整えるによりGOOD。
A08	白紙	19 pt 2 位 0 sp
		ながあい言い訳。そのもっともらしさが、ラスト1行ですとんと落ちて、親しみやすい光景が仕上がりました。白紙にふさわしいシルバー・メダルに、イチオシフレーズ大賞のおまけつきです、おめでとう!! イチオシフレーズ：「ごめんなさい、白紙です」×4
A09	空っぽ	6 pt 5 位 2 sp
		このレイアウトがそそりますね。 じゃあ、オレが「愛」を注いでやろうじゃないか、と読者を誘ってくれます。 特別賞：男の本音で賞ザ・インパクト賞（インパクトがあったから） イチオシフレーズ：「愛で満たして。」「満たして」×∞
A10	努力の成果	4 pt 8 位 1 sp
		人生はゲームの宝箱に似て。労多くして功少ないもの。負けるな！自分への励ましメッセージだったでしょう。 ずっと分かりやすく響くけれど、語り手の存在が特定できると、もっと立体的になりそう。 特別賞：努力賞（その箱をあける努力を賞して）
A11	空車	10 pt 3 位 5 sp
		うーん、謎。幽霊？時間軸のズレ？TAさん総出で考えたけれど謎のままでした。 どうやら、作者さんもきっちり詰めていたわけではなかったらしい。 そんな謎めきが逆に注目を呼んで、ブロンズ・メダルと最多特別賞の同時受賞です、おめでとう!! 特別賞：解説してほしい賞（意味がわからなかった） 想像をかきたてたで賞（考えたが、よくわからなかった） 何が起こったので賞（意味がわからない） なんなんで賞（気になるよー）よく分からなかったで賞

		(空車になった理由がよく分からなかったところが逆に面白い)
A12	小心物語	9 pt4 位0 sp 恋未満の淡い思い。日常光景を舞台にいていねいに辿られて、ずっと感情移入できます。 ふんわり感が好印象な今週の読み納めでした。 イチオシフレーズ：「僕が見つけた特等席」「まだ彼女の隣は空いているだろうか」× 2

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	空へ向かって	25 pt1 位1 sp ビルやエベレストからぽーんと飛んで宇宙へ。その抜け感が爽快な今週の表紙です。 みんなの気持ちを乗せて、そのままの勢いで首位まで一直線、あざやかな飛翔ぶりでした。おめでとう!! 特別賞：レイアウト賞（レイアウトに工夫があつて文脈ときっちり合っている感じがあつたので） イチオシフレーズ：「今僕は空の一番高い所にいる。」		
B02	ハート・アンダー・ザ・スカイ	16 pt2 位1 sp この世界のどこかに私を待っている人が必ずいる。赤い糸。 信ずる気持ちが飾らない言葉で差し出されて、ほんとに「ホッ」とできるなごみトークでした。たくさんの共感をもらえてのシルバー・メダルです、おめでとう!! 特別賞：ホッとするで賞 イチオシフレーズ：「なんだかホッとするのはです」× 3		
B03	雲の上の○○○	0 pt11 位0 sp アトラクションみたいなホテルですね。 雷とかシャワーとか小道具に凝ることで、遊び心がわくわく伝わってきます。 タイトルはジブリか??		
B04	大気圏再突入	1 pt9 位0 sp 人工衛星かなあ? ふるさとの懷に抱かれる直前で燃え尽きなくてはならない宿命という設定が、ちょっと虚を突かれて新鮮でした。		
B05	空の色	11 pt4 位2 sp ウンチクを背景のように仕立てた工夫が効いてます。 ナメック星でネタ狙いをせずとも、正統派でも十分押せる内容。 おもしろさがヒットして、イチオシフレーズ大賞獲得です、おめでとう! 特別賞：空気を読みま賞（空気をよく読めてるから） どうしま賞（ナメック星がいい） イチオシフレーズ：「空気を読むのは、なかなか難しいものだ。」× 4 「そう、ナメック星である。」 「レイリー散乱」「ナメック星」		

B06	今日の気分	3 pt7 位0 sp たしかにね、と共感を誘うトークです。フレーズの力も強い。 レイアウトもテンションに合わせて上げ下げしたら良かったのでは。 イチオシフレーズ：「しかし思い出はたいてい雨の日」×2
B07	いろんな「空」の物語	0 pt11 位3 sp 飛行石。イメージはラピュタでしょうか。 おとぎ話風のゆったりした語り口が、全体をいい雰囲気には保っています。口調はたいせつ。 それにしても、これでもかと「空」を詰め込みましたね。ヒンメルさんの解説を作者トークでぜひ。 特別賞：誰で賞（ヒンメルさんの名前はどこからとってきたのでしょうか？）お父さんはムスカ大佐で賞（ラピュタっぽい）話がふくらんで賞（ヒンメルさんで話がはずんだ）
B08	今日の空模様	11 pt5 位1 sp あーあ、そんな結末。 そこに至るまでのコミカルな言葉のリズムがここちよい。さいご、ただの「」でも楽しかったかも。 特別賞：テンポがいいで賞
B09	「そら（空）」の普遍性、またその用例	3 pt7 位3 sp 例文集。なかなか手の込んだ秀逸な仕上がりです。とぼけ味のコントにオチもシャープに決まって、すてきな逸品でした。 特別賞：空にくわしいで賞（単語力の豊かさがすばらしい）Wiki賞（Wikiにのせたーい!!）駄洒落賞（だじゃれうまい） イチオシフレーズ：「そらおそろしいヤツだな」
B10	そら（小さな雲）	6 pt6 位1 sp いいなあ、このささやかな自己犠牲。誰の目にも触れない小ささ。 きっとまた生まれ変われるよね。 小さな小さなファンタジーになごみました。 特別賞：スタンダード賞（我が班の第4位!）
B11	空を見上げる少年の瞳に映る世界	1 pt9 位0 sp 夢は、そんなに簡単には実現しない。けれど、それを追っかけている間は、ずっとしあわせ。そう死ぬまで。そんな寓意だったでしょうか。重厚ドラマにしっかり浸れました。 ラストのタケコプターはかわいいけれど、固有名詞なのでコードぎりぎりかな。
B12	「トイ」	12 pt3 位3 sp 音楽を言葉でキャッチ。「しろくろ」とあるからピアノでしょうか。ド・レ・ミ♪奏でるごとに世界に命が吹き込まれるような。 言葉数が少ないほどに、青空へと想像の翼が羽ばたくような今週の読み納めでした。みんなの心の琴線にしっかり届いてのブロンズ・メダル、おめでとう!!

特別賞：おくがふかいで賞 ハニホヘトイロハ賞（タイトルがわかった時の喜び） はっきりしま賞（タイトルの意味がはっきりしなかった）
イチオシフレーズ：「シがわたしをつつむ」